

家の お手入れ

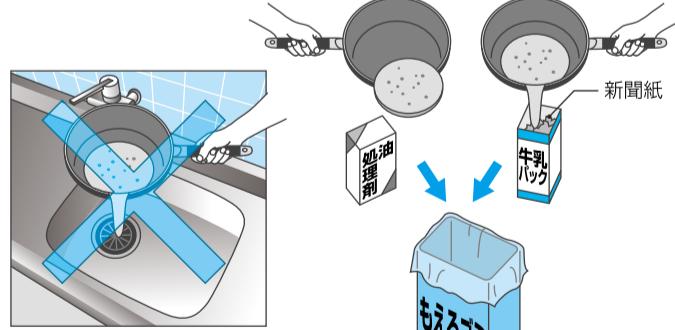


排水管のつまりを予防する方策

排水管の内部に水アカや石けんカスなどがたまると内径を細くなり、排水の流れが悪くなります。それをそのままにしておくと悪臭がするばかりか、そこに髪の毛や野菜カスなどが引っ掛かり、つまりの原因になります。使用済みのてんぱら油などは油処理剤を使うか、牛乳パックに新聞紙を入れてそれにしみこませるなどしてゴミ箱に捨ててください。また、油っこい調理をした鍋や皿なども、新聞紙などで油分を拭いてから洗うようにすると安心です。

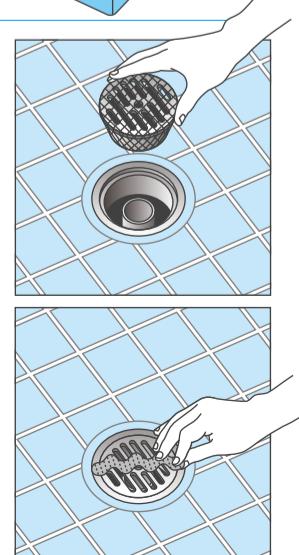
台所の排水管

排水バスケットやゴミ受けには必ず水きりゴミ袋を敷き込んで細かなゴミを流さないように心掛けましょう。また、注意したいのが油。油分が冷えたものが排水管内部に付着すると排水管の内部を狭くし、それがつまりの原因になることがあります。使用済みのてんぱら油などは油処理剤を使うか、牛乳パックに新聞紙を入れてそれにしみこませるなどしてゴミ箱に捨ててください。また、油っこい調理をした鍋や皿なども、新聞紙などで油分を拭いてから洗うようにすると安心です。

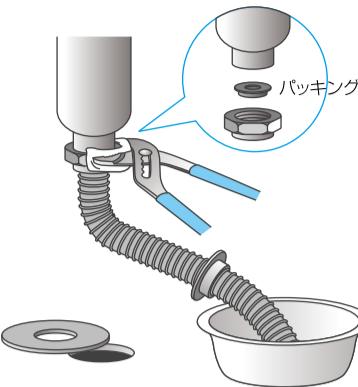


浴室、洗面所の排水管

石けんカスや水アカもさることながら、一番の原因となるのが毛髪。新しいユニットバスなどではヘアーストッパーという毛髪を流さない構造になっている排水口もありますが、そのような装置がついていない場合は、できるだけ毛髪を流さない工夫をしてください。効果的なのは、塩ビ製で帽子のような形をしており排水口の目皿に吸盤でくっつけるタイプや、表面がマジックテープのようになっている波形の粘着テープなど市販品を上手に活用すること。また、排水口の目皿にミカンやシイタケなどが入っていたナショネットを被せておくのも効果的です。

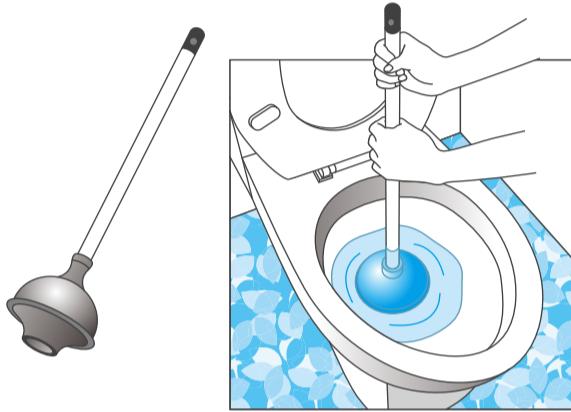


台所
台所の流し台の排水パイプが蛇腹ホースの場合、針金などを使うとホースに穴があくことがあるので注意を。また、蛇腹ホースは取りつけネジをウォーターポンプブライヤーなどではずせば簡単にははずせるので、ホースにつまっている場合ははずして掃除をし、その下の排水管がつまっている場合は、ホースをはずした部分からワイヤー式パイプ清掃器具などを使ってつまりを直すこともできます。



水洗トイレのつまりの直し方

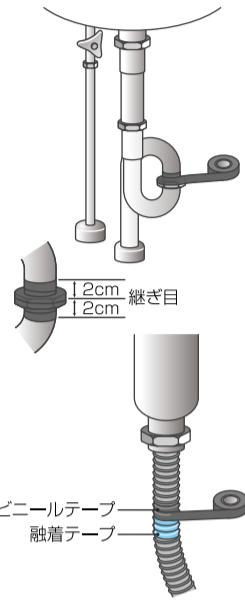
トイレがつまっている場合は、トイレ用吸引カップを使うのが一番。カップの先のゴムが2段になっているタイプがおすすめです。便器に水がたまっている状態で、排水口がすっぽり隠れるようにカップを当て、ゆっくり押し込み、目一杯押し込んでから、一気に引っ張るようにすると、詰まつたものが水の勢いで動きます。水が引いたら直った知らせ。ただし、ここで安心してトイレの水を流さないように注意。もし、詰まりものが残っていたら水が溢れてしまいます。バケツに入れた水を少しづつ便器に注いで、きちんと水が流れるかどうか確認してから、レバーを回して水を流すようにしてください。



排水管のつまりを直す

排水管、排水ホースの水もれを簡単に直す

分解やパッキング交換をせずに、手軽に補修したいときは、自己融着テープを使いましょう。これは、巻き付けられたテープ同士がくっつくようになっている少し厚めで黒いテープです。パイプの水気や汚れを拭きとつてから、テープを引っ張りぎみに、また、テープ同士の幅が半分以上重なるようにしっかりと巻き付ければOK。はずす場合は、カッターで切り取ればパイプを汚すことなくはずせます。

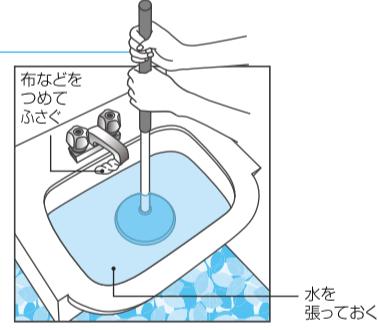


排水管のつまりの直し方

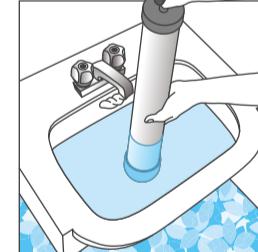
吸引カップを使って水の圧力でゴミを押し流す

吸引カップを使うと、水が引き上げられる力によってゴミの位置がずれ水が流れようになります。この場合、排水がつまっている台所の流し台や洗面台のボルトに水をはってから作業すること。そのうえで、洗面台の場合はオーバーフロー（あふれ止め）用の排水口に、2つシンクがある流し台の場合は一方の排水口に布などをつめてふさいでおかないで水が逆流して効果が下がるほか、汚水をかぶることがあるので注意しましょう。

吸引カップは、排水口にぴったりと当て、グッとゆっくり押し付けてから引っ張るときに力を入れるのがコツです。



ポンプ式



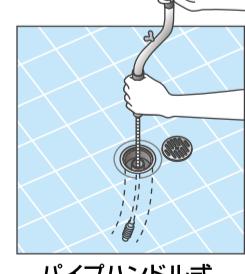
真空式



水の圧力でゴミを押し流す道具には吸引カップのほかに、竹製の水てっぽうを大型にしたようなポンプ式の器具や、強力な吸引力と押し下げ圧力でゴミを押し流す真空式のものがあります。

ワイヤー式パイプ清掃器具でゴミを取り除く

どうしても直らない頑固なつまりは、スプリングのようなワイヤーを差し込み、つまっているゴミを取り除きましょう。ワイヤーの長さや太さ、ハンドルの型など様々なタイプがありますが、どれもフレキブルなワイヤーで排水管の曲がりにそって入っていくようになっています。ワイヤーを排水口に押し込んでいき、ワイヤーが進まなくなつた箇所とを考えられるので、ハンドルでワイヤーを回したり、少し巻き戻してまた進めたり、を繰り返してみてください。浴室などでつまりがひどい場合は、一度巻き戻して、先端に付着している毛髪などを取り除いてから再び作業を続けるようにすると効果的です。



排水管を分解してゴミを取り除く

洗面台

洗面台は排水口の構造によって、ワイヤー式パイプ清掃器具が入らないケースがあります。そんな場合、洗面台のつまりのほとんどはU型のトラップ部分なので、排水パイプの継ぎ目のナットをはずして掃除すればOK。トラップの中には水が入っているので、バケツなどを置いてから、ウォーターポンプブライヤーなどでナットをゆるめてはずします。はずしたトラップの中はパイプブラシなどで水洗いし、U字管の上下のパイプの中もブラシが入る範囲で掃除しましょう。あとは、はずした部分に入っているパッキンを新しいものと交換してください。また、ウォーターポンプブライヤーを使う際は、パイプやナットにキズがつかないように当て布をして作業しましょう。

